



紙与作

—紙薪つくり器—

紙薪つくり器 紙与作 日本総輸入元 有限会社T&T
<http://tnt.ne.jp/>
PL保険加入商品

春～秋はアウトドア、冬はストーブなどで



2008年、昨今のエコロジーへの関心の高まりやブームや原油高騰などの状況下で『紙与作』を発売し、発売以降数多くのメディアで取り上げられ、話題となっている商品が『紙薪づくり器 紙与作』。『紙薪づくり器 紙与作』は、新聞紙をリサイクルして紙の薪(まき)が作れる手軽でユニークな道具です。

JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2008では、「人と環境にやさしい商品部門」で金賞、「DIY新商品コンクール部門」において銀賞を受賞した優れたものの商品でもあるのです。

新聞紙と水だけで、簡単に作れて経済的、安全で環境に優しく、燃料費の節約だけでなく、環境に優しいとの理由で、一般家庭、教育現場やNPO団体等の新事業や自立支援のための道具として、またエコロジーに貢献していることから愛用者がますます増加しています。

一般消費者であるお客様のエコロジーへの関心の高まり、いつまで続くのか分からない不況下での節約、2009年末に向けて囁かれている原油高騰の報道などの現実を考えると、身近な所から節約！エコ！という話題性と、実益性に富んでいる『紙薪づくり器 紙与作』で節約上手な生活をお楽しみください。



紙で作ってな～に？



① 新聞紙が紙薪に！



『紙で作』はどこにでもある新聞紙をリサイクルして、アウトドアをはじめ、暖炉、ストーブ、農業用暖房機など、薪を燃料とするいろいろな器具などの燃料となる「紙の薪」を作るユニークな道具です。

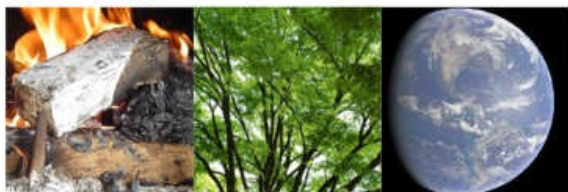
② 薪の消費が1/3減る！



「紙の薪」は熱量も灰も木の薪と殆ど変わりません。紙薪[1]に対し、木薪[2]の割合で補助材として幅広い用途で使用が可能。つまり、木の薪の消費量を1/3減らすことができます。

紙の薪は1時間30分程度かけてゆっくりと燃焼します。
(紙の薪の圧縮率や燃やす条件・状況により異なります。)

③ 環境にやさしい！



『紙で作』を使えば、誰にでも経済的で安全、エコロジーで、地球環境にやさしいリサイクル燃料「紙の薪」を作ることができます。



紙で作本体

④ いろいろ使える！



アイデアひとつで、アウトドア料理、キャンプファイアー・暖炉、薪ストーブ、だるま・ブリキストーブ、ピザの窯、陶器の窯、農業用暖房機、非常時など、いろいろな場面で紙の薪を活用できます。

※ 紙の薪は、木の薪と同様に煙がでます。網焼きのBBQにはお勧めしていません。(網焼きBBQでは通常、煙が少ない炭を使用します。)



どうやってつくるの？



用意するもの（紙薪1本分）

- 紙与作 本体
- 新聞紙 20枚（開いた状態）
- 軍手
- 水またはお湯を入れたバケツ



1. 水に浸し細かくする

新聞紙を1枚ずつバケツの水に浸し、揉みほぐしながら、新聞紙を細かくする。



2. 紙与作に詰める

細かくした新聞紙を取り出し、ケースの隅々まで厚さが均等になるよう全体に詰める。



3. 水分を出す

押し型を乗せハンドルを持ち、徐々に体重をかけながら水分を出す。

※ハンドルを押す際に手が痛くなる恐れがあります。
軍手を着用するか、ハンドルをタオルなどでカバーして、必ず手でご使用ください。



4. 2-3を数回くり返す

上部に出た水分は、紙与作を傾けて捨てる。
この作業を2～3回程度くり返す。



5. 取り出す

水分が出なくなったらケースから押し型を取り出し、次にケースの左右の端を持ち、揺らしながら引き抜くように取り出す。



6. 乾燥させて完成！

1週間～10日ほど風通しのよい場所で乾燥させて完成。
※十分に乾燥させてからご使用ください。

乾燥したときの重さの目安は、新聞紙20枚の場合約400gです。

紙与作のメリット



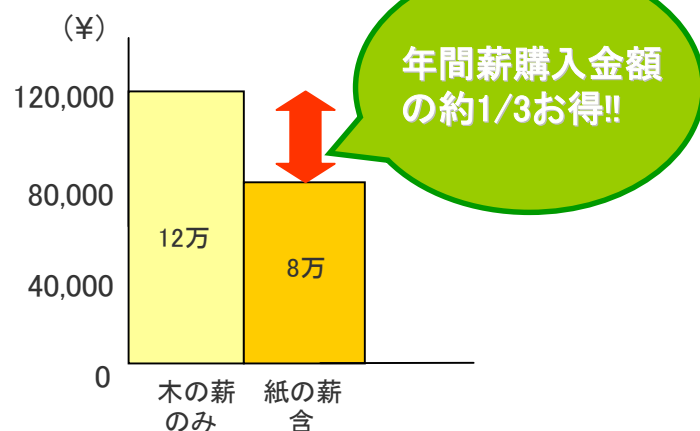
欧米諸国では、薪ストーブが伝統的に生活の一部として普及しており、古くから新聞紙をリサイクルし紙の薪として使用しています。

近年、日本でも趣味の多様化や豊かな生活の象徴として薪ストーブの需要が増加しています。また、不安定な原油の値段が原因となり灯油を使用しない木の薪を燃料とするストーブなども見直され注目されてもいます。そんな中、薪ストーブ・ブリキストーブ使用者にとって、薪の確保は手間もお金もかかり問題視されてもいます。

そして、エコバーベキューの流行やエコバッグを持つ人が多くなるなど今まで以上に、エコロジーに関心のある人も増えています。

アウトドアや非常時でも紙の薪は使用できることから、季節を問わず、実用性に優れ、エコロジー、それでいてお財布にもやさしい、『紙薪つくり器 新・紙与作』。紙の薪の需要が徐々に増えている今、ブームは全国へと広がっています。

お得で安全!! 紙の薪!



* 薪一束¥500、年間240束使用として換算した場合

* 薪のみの金額の約2/3程で済み経済的

- 新聞紙で作った紙の薪は、補助材として木の薪[2]に対して紙の薪[1]程度の割合で使うと、とても経済的!
- 新聞紙で使われる紙はパルプが原材料。国産のメーカーが約75%の古紙を利用し、製紙していると言われてます。その為、燃やした際に害があるなどの報告はありません。
- 国内の主な新聞紙に使われるインクは、印刷インクに関する自主規制であるNL規制に基づき製造されており、食品包装材の印刷にも使用されています。また、特定有害物質の使用制限であるRoHS指令にも適合している安全性の高いインクです。
- 燃やした際に、硫黄成分が発生することなく、薪ストーブの触媒の働きを妨げることはありません。
- 燃え残った灰は、菜園やガーデニングに使うと肥料効果が見込めます。
- PL保険加入商品です。
- 環境省が推進する「Reduce(リデュース)」「Reuse(リユース)」「Recycle(リサイクル)」の3Rに当てはまる商品です。

* 3Rとは?

3つのRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、そのことでごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会＝循環型社会をつくらうとするものです。

商品規格



■ 品名:紙薪づくり器 紙与作 [JANコード:4 562224 270011]

■ 希望小売価格 ¥4,500

■ 台湾製

■ 商品パッケージ:ダンボール

■ 本体: スチール製

■ 色:ブラック

■ サイズ:幅32.0cm×奥行14.5cm×高さ19.0cm(ハンドル部を入れた外寸法)

■ 重量:2.9kg

■ PL保険加入商品

■ 紙与作箱入り1個:幅32.5cm×奥行16.0cm×高さ15.0cm、3.0kg

■ 紙与作6個入1ケース:幅49.0cm×奥行36.0cm×高さ34.0cm、20.0kg
[集合包装用商品コード:145 62224 27001 8]



会社概要



社名	有限会社T&T [紙薪つくり器 紙与作、新紙与作 日本総輸入元]
資本金	3,000,000円
設立	2005年
代表者	萩原輝久
取引銀行	三井住友銀行 新宿通支店
従業員数	5人
事業内容	紙薪つくり器 紙与作、新・紙与作、国内向意匠・輸入販売、各種バッテリー輸入販売、 防衛省向け物品提案販売、日本郵便向け物品提案販売、各種雑貨輸入販売など
主要販売商品	リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、紙薪つくり器 紙与作、郵袋、硬貨帯用特殊札、 他
主要取引先 (五十音順)	アーランドサカモト(株)、(株)寺岡精工、デュプロ(株)、(株)外山産業、(株)日本トリ カ、ハーマンズ(株)、防衛省、(株)松井、郵便事業(株)、各小売店、海外協力工場など
所在地	〒165-0023 東京都中野区江原町2-26-10 B4
電話	03-3565-5055
FAX	03-3565-5054
紙与作専用フリーダイヤル	: 0120-439-414 (ヨサクヨイヨ)

T&Tはチーム・マイナス6%に加盟しています

